

正 答 表

数 学

(7-立)

1	点
[問 1] $-5 + 10\sqrt{6}$	6
[問 2] $a=0, b=7, c=4$	6
[問 3] $\frac{7}{15}$	6
[問 4]	7

(図)

2	点
[問 1] $-72 \leq y \leq -18$	7
[問 2] $1 \pm \sqrt{5}$	7
[問 3] 【途中の式や計算など】	11

2点 A, B を通る直線の式を $y=ax+b$ とする。
2点 A(4, 4), B(-1, -2) を通るから,

$$\begin{cases} 4a+b=4 \\ -a+b=-2 \end{cases}$$

これを解いて, $a=\frac{6}{5}$, $b=-\frac{4}{5}$

よって, 2点 A, B を通る直線の式は,

$$y=\frac{6}{5}x-\frac{4}{5}$$

この直線と x 軸との交点が点 C であるから,
 $y=0$ より, $x=\frac{2}{3}$

よって, 点 C の座標は, $C\left(\frac{2}{3}, 0\right)$

直線 ℓ の傾きを m ($m < 0$) とし, 直線 ℓ の式を
 $y=mx+n$ とすると, 点 D の座標は,
D(0, n) である。

四角形 OCAD の面積を S とすると,

$$S = \triangle OCA + \triangle OAD$$

$$= \frac{1}{2} \times \frac{2}{3} \times 4 + \frac{1}{2} \times n \times 4 = 2n + \frac{4}{3}$$

$$S = 20 \text{ cm}^2$$
 であるから,

$$2n + \frac{4}{3} = 20$$
 より, $n = \frac{28}{3}$

よって, 直線 ℓ の式は, $y=mx+\frac{28}{3}$

点 A(4, 4) を通るから,

$$4=m \times 4 + \frac{28}{3}$$
 より, $m=-\frac{4}{3}$

$$(m < 0 \text{ を満たす。})$$

したがって, 直線 ℓ の式は, $y=-\frac{4}{3}x+\frac{28}{3}$

(答え) $y=-\frac{4}{3}x+\frac{28}{3}$

3	点
[問 1] 84 度	7
[問 2] 【証明】	11

$\triangle APQ$ と $\triangle CPQ$ において,
共通な辺であるから,

$$PQ=PQ \quad \dots \dots \textcircled{1}$$

直線 AQ, 直線 CQ は, それぞれ 3 点 A, B, C を
通る円の点 A, 点 C における接線であるから,

$$AQ=CQ \quad \dots \dots \textcircled{2}$$

点 A と点 C を結ぶ。

$\angle CBP$ と $\angle CAP$ は, ともに \widehat{CP} の円周角
であるから,

$$\angle CBP=\angle CAP$$

$\angle ABP$ と $\angle ACP$ は, ともに \widehat{AP} の円周角
であるから,

$$\angle ABP=\angle ACP$$

直線 BP は $\angle ABC$ の二等分線であるから,

$$\angle CBP=\angle ABP$$

したがって, $\angle CAP=\angle ACP$ より,
 $\triangle PAC$ は二等辺三角形である。

よって,

$$AP=CP \quad \dots \dots \textcircled{3}$$

①, ②, ③ より, 3 組の辺がそれぞれ等しいから,

$$\triangle APQ \equiv \triangle CPQ$$

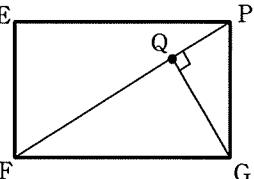
4	点
[問 1] $\frac{27}{2} \text{ cm}^2$	7
[問 2] 【途中の式や計算など】	11

$\triangle CGQ$ において, $\angle CGQ=90^\circ$ であるから,
三平方の定理より,

$$CQ^2=CG^2+GQ^2$$

$CG=6$ より,

$$CQ^2=6^2+GQ^2 \quad \dots \dots \textcircled{1}$$

よって, 線分 GQ の長さが最も小さくなるとき,
線分 CQ の長さは最も小さくなる。
線分 GQ の長さは, 点 Q が, 頂点 G を通り
線分 FP に垂直な直線と線分 FP との交点に
一致するとき最も小さくなる。


$\triangle EFP$ と $\triangle QPG$ において,

$$\angle EFP=\angle QPG$$

$$\angle FEP=\angle PQG=90^\circ$$

よって, 2組の角がそれぞれ等しいから,

$$\triangle EFP \sim \triangle QPG$$

ゆえに, $PE : GQ = PF : GP$ であるから,

$$4 : GQ = 5 : 3$$

よって, $GQ = \frac{12}{5} \text{ cm}$

したがって, ①より,

$$CQ^2=6^2+\left(\frac{12}{5}\right)^2=\frac{6^2 \times 29}{5^2}$$

よって, $CQ > 0$ より,

$$CQ = \frac{6\sqrt{29}}{5} \text{ cm}$$

(答え) $\frac{6\sqrt{29}}{5} \text{ cm}$

[問 3] $\frac{2}{3}\pi - \frac{\sqrt{3}}{2} \text{ cm}^2$ 7

[問 3] $\frac{35}{3}t \text{ cm}^3$ 7

合計得点
100